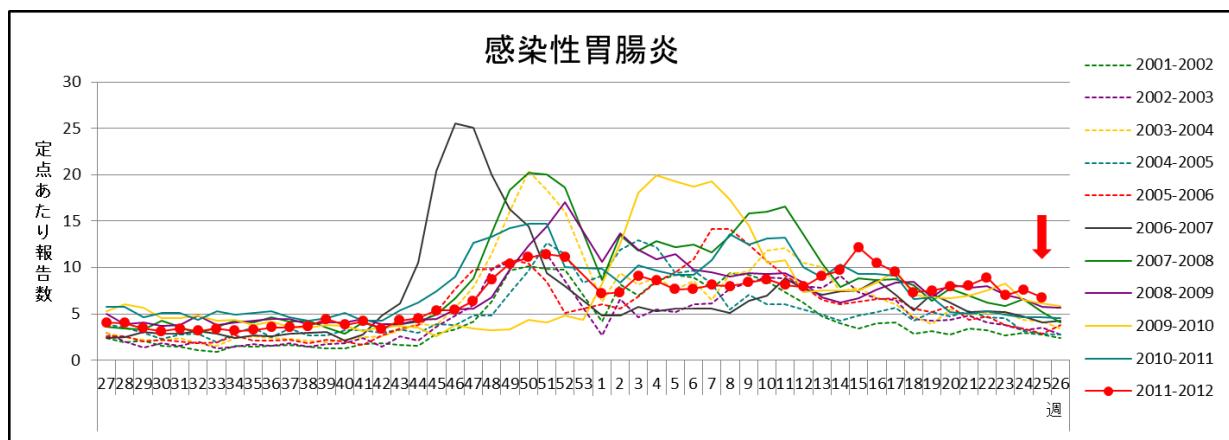


感染性胃腸炎情報 第 25 週 2012 年 6 月 18 日～6 月 24 日

○岡山県内の患者報告数は 365 名（定点あたり 6.76 人）で、前週とほぼ同数でした。

○過去 10 年の同時期に比べ、患者の多い状態で推移しています。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週～今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数で（54 定点医療機関 定点あたり 7.61 → 6.76 人）、過去 10 年の同時期に比べ、患者の多い状態がつづいています。患者の年齢分布は、0～5 歳の低年齢層に多く、この年齢層で全体の約 60% を占めています。全国でも過去 5 年間の同時期と比較してかなり多いと報告されており、ひきつづき注意が必要です。（[国立感染症情報センター 感染性胃腸炎過去 10 年との比較グラフ 2012 年第 23 週](#)）

梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、食中毒菌による感染性胃腸炎も増加します。岡山県では「食中毒注意報」および「腸管出血性大腸菌感染症注意報」が県下全域に発令されています。手洗いを励行するなど感染予防に努めてください。

